

## 令和3年度 第2回伊勢市スポーツ推進審議会 会議録（概要）

1 日 時 令和3年7月30日（金）19：00～20：30

2 場 所 小俣公民館2階 学習室

3 出席者 会 長 叶 俊文  
副会長 龍田 洋  
委 員 北村 峯記  
委 員 中西 武寿  
委 員 奥田 守  
委 員 泉 恵子  
委 員 中辻 浩行  
委 員 橋本 さち子  
委 員 平沼 美智子  
委 員 立花 和子  
委 員 豊島 久雄

事務局（伊勢市教育委員会事務局スポーツ課）

沖塚 孝久（スポーツ課長）

日置 純子（スポーツ課課長補佐）

春木 基一（スポーツ課スポーツ施設係長）

### 4 概 要

（1）あいさつ（伊勢市教育委員会事務局スポーツ課 課長 沖塚 孝久）

（2）協議事項

第3期伊勢市スポーツ推進計画（案）について

（事務局説明）

（質疑応答）

### <ご意見等>

第1章 計画の基本理念 特になし

第2章 計画の位置づけと期間 特になし

第3章 目標とする姿 特になし

第4章 現状と課題

①障がい者スポーツの推進について、スポーツ推進委員連絡協議会にお

いて、令和元年度にボッチャ交流大会を小俣総合体育館で開催したが、交通の便が良くなかったため、障がい者の参加が難しい課題があった。今後検討が必要と考えるので参考にしてほしい。

- ②障がい者スポーツを進めるには、福祉部署との連携が不可欠であるためしっかりと連携していく必要がある。
- ③健常者と障がい者が一緒にスポーツできる環境を整える必要がある。スポーツ協会においても、現在、障がい者が競技スポーツを行うことができる環境づくりを検討しているところである。

## 第5章 基本方針・主な取組

### 【1 スポーツ活動の充実】

- ① 数値目標としている「週1回以上のスポーツ実施率」の目標達成には、主な取組に記載されている総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動をはじめ、さまざまな取組を通して実施率は上がってくるのではないかと。  
⇒この目標の達成には、【2 スポーツ関係団体の強化・連携】や【3 スポーツ施設の利便性の向上】も含めて考えています。

### 【2 スポーツ関係団体の強化・連携】

- ① 中学校部活動のあり方が変わりつつある中で、すでに外部コーチに入ってもらい学校と連携を取りながら部活動を進めている学校もある。指導者をどのように確保していくか検討が必要である。
- ② 学校に外部コーチを入れるのであれば、資格を持った指導員が必要である。そのような資格を取るためのサポートも必要ではないか。
- ③ 小学校体育部会及び中学校体育連盟との連携における、部活動のあり方については、教員の働き方改革も重要であるが、子どもたちの部活動をどのようにサポートしていくかということに重点をおいて記載すべきである。
- ④ 子どもたちが自分のやりたいスポーツが学校に部活動としてない場合、それを地域等でサポートできる環境が必要である。  
⇒現状では、地域のクラブチームに加入したり、他校と合同チームで参加できる規定を設け対応している。

### 【3 スポーツ施設の利便性の向上】

- ① 県営陸上競技場のサブトラックの使用料の設定は子ども1名に対しての料金であるため高額になる場合がある。また競技会の前日は使用できない等、使用しづらい状況もある。  
⇒ご指摘いただいた施設は、県営施設になるので、お伝えします。
- ② 市の体育館は使用頻度も高いので、使用できないことも多い。  
⇒学校統合後の旧学校体育館の機能移転や有効活用も含めて検討していきます。
- ③ 第2期計画の数値目標における「市内にある公共スポーツ施設に対する全体的な満足度」は市民アンケートで数値を出している。目標設定時の「満足・やや満足・普通・やや不満・不満」の5択から、回答の選択肢が「満足・やや満足・やや不満・不満」の4択に変更となるため、目標値を現在の「30%」から高い数字に変更したいと考えるが、いかがでしょうか？  
⇒そのようにしてください。

資料編 特になし

上記ご意見については、事務局で再度検討し、次回の会議素案に反映させていただきます。

#### (3) その他

第3回審議会を8月27日(金)と予定していますが、別会議との重複したことから、コロナ禍であることも考慮し、書面審議とさせていただくか、日程変更とするか提案させていただいたところ、書面審議とすることに決定した。

#### 【今後の予定】

8月下旬 計画(案)の修正を書面審議として郵送  
第4回審議会 9月17日(金) 小俣公民館2階 学習室